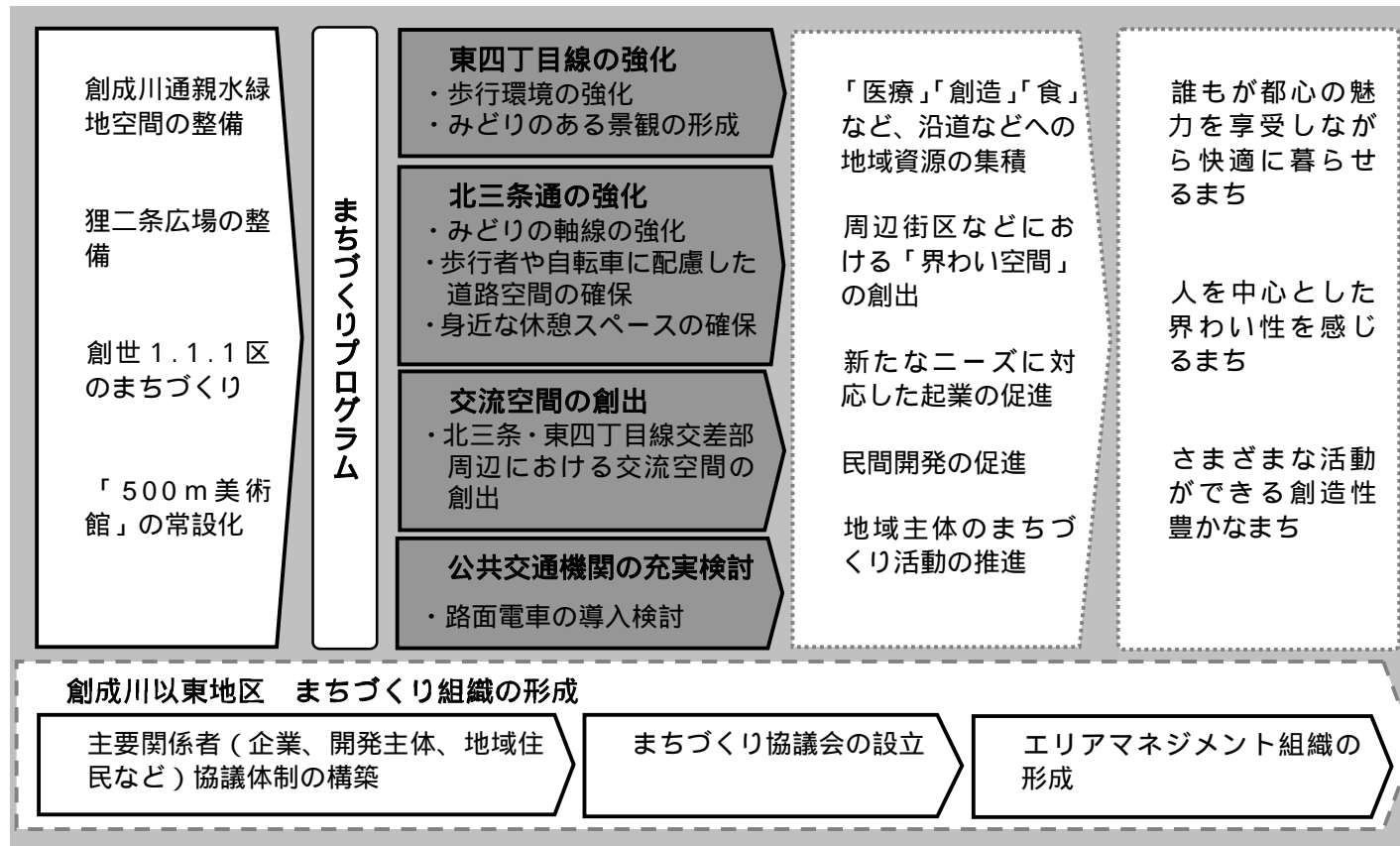


(4) 将来像を見据えた取組 展開イメージ



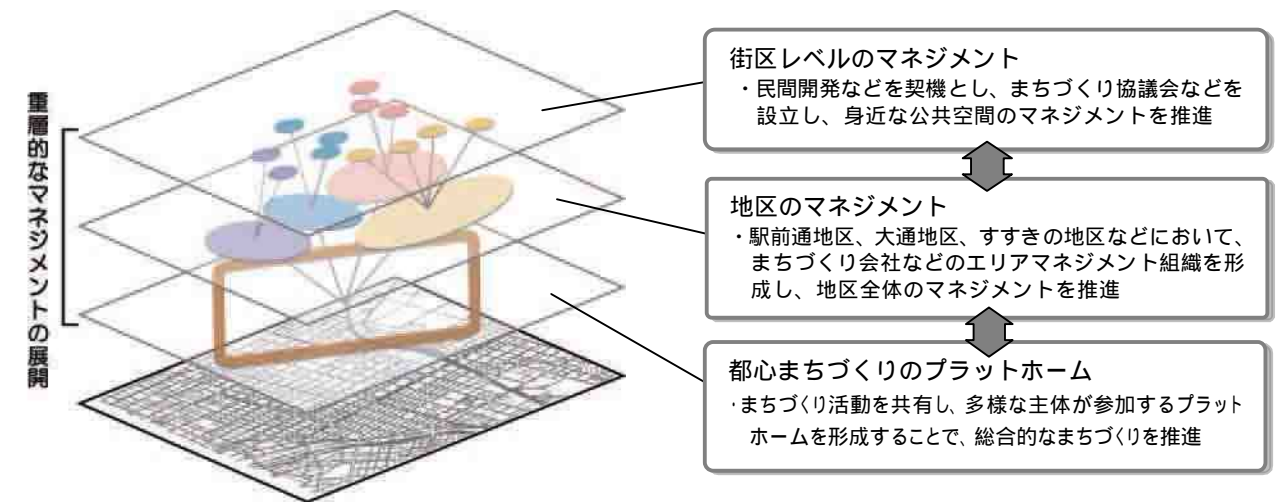
4章 協働による持続的なまちづくり

協働によるまちづくりの必要性

成熟社会への移行に伴い、開発中心のまちづくりから、管理運営にも配慮したまちづくりが必要  
行政の画一的なサービスでは対応できない、地区個性、価値を高める取組が重要

地域が主体となり、魅力創出や課題解決に向けた取組 = 「エリアマネジメント」による官民協働のまちづくりを推進

重層的なエリアマネジメント体制の考え方



エリアマネジメントの促進

地区のまちづくり活動を支援するとともに、民間開発などを街区レベルでのきめ細かいマネジメントを推進するほか、各地区のまちづくり活動を共有し、多様な主体が参加する「プラットフォーム」を形成

